

おおいずみ



議会だより

No. **82**
2018.11.10

発行/大泉町議会
編集/議会広報
編集委員会



主な内容

9月定例会開催

P 2～

議案賛否一覧表

P 4

町政を問う **一 般 質 問**

P 5～

決算調査

P 8～

議会トピックス・編集後記

P 12

平成29年度 一般・特別会計決算を認定！

9月定例会

平成30年第4回定例会は、9月4日(火)～20(木)までの17日間の日程で開催しました。平成29年度の一般会計と特別会計の決算認定を含む議案16件、報告1件、諮問1件、議員発議2件について慎重審議し、原案のとおり可決しました。

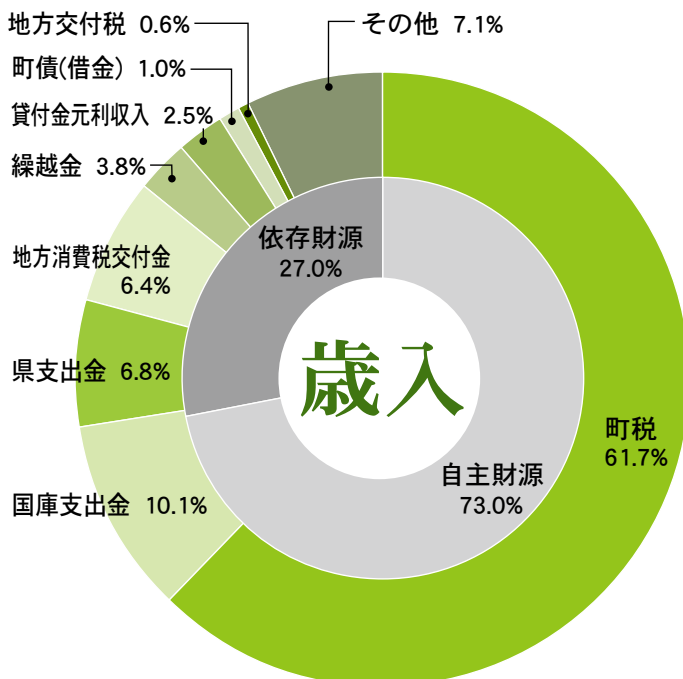
一般質問には3人の議員が登壇し、子ども・子育て支援について、町税の滞納処分実施状況について、健康づくりの推進について質問しました。

平成29年度 一般会計

大泉町は平成29年度も黒字決算となりました！

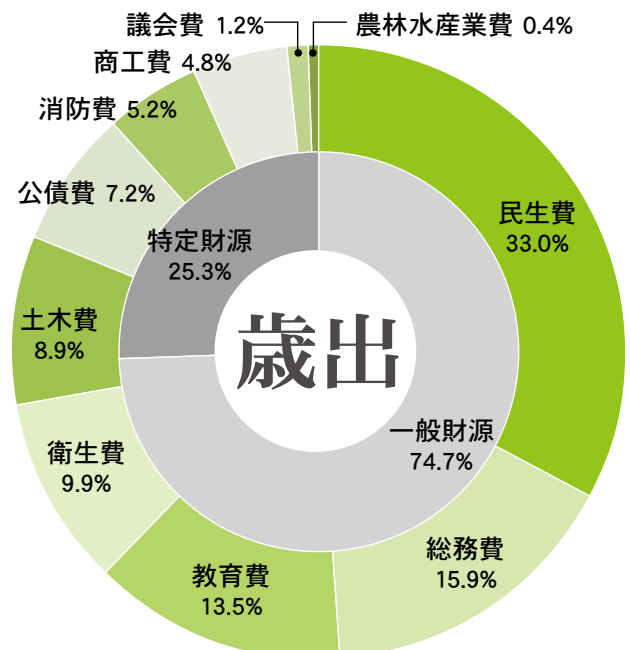
歳入 127億3986万円

対前年度比：約17億8000万円減



歳出 123億5206万円

対前年度比：約16億9000万円減



平成29年度 歳入歳出決算総括表

会計名	予算現額	歳入決算額	歳出決算額	歳入歳出差引額	
一般会計	126億 3763 万円	127億 3986 万円	123億 5206 万円	3億 8780 万円	
特別会計	83億 6964 万円	81億 7424 万円	80億 1957 万円	1億 5467 万円	
会計別	国民健康保険事業	47億 1833 万円	45億 9542 万円	45億 5924 万円	3618 万円
	後期高齢者医療事業	3億 4737 万円	3億 4531 万円	3億 4296 万円	235 万円
	介護保険事業	25億 3329 万円	24億 6506 万円	23億 6711 万円	9795 万円
	公園墓地事業	1370 万円	1461 万円	1185 万円	276 万円
	下水道事業	7億 5695 万円	7億 5384 万円	7億 3841 万円	1543 万円
総計	210億 727 万円	209億 1410 万円	203億 7163 万円	5億 4247 万円	

一般会計 内訳

項目	平成29年度	平成28年度	対前年比額	対前年度比率	
歳入総額	127億 3986 万円	145億 1691 万円	△17億 7705 万円	87.8%	
内訳	自主財源	92億 9941 万円	109億 6169 万円	△16億 6228 万円	84.8%
	依存財源	34億 4045 万円	35億 5522 万円	△1億 1477 万円	96.8%
歳入内訳	町税	78億 6435 万円	95億 4533 万円	△16億 8098 万円	82.4%
	国庫支出金	12億 8414 万円	13億 545 万円	△ 2131 万円	98.4%
	県支出金	8億 6312 万円	8億 3057 万円	3255 万円	103.9%
	町債(借金)	1億 3200 万円	3億 7490 万円	△2億 4290 万円	35.2%
	地方消費税交付金	8億 1891 万円	7億 6358 万円	5533 万円	107.2%
	繰越金	4億 7638 万円	4億 171 万円	7467 万円	118.6%
	貸付金元利収入	3億 1319 万円	2億 6718 万円	4601 万円	117.2%
	地方交付税	8034 万円	5859 万円	2175 万円	137.1%
	その他	9億 743 万円	9億 6960 万円	△ 6217 万円	93.6%
歳出総額	123億 5206 万円	140億 4053 万円	△16億 8847 万円	88.0%	
歳出	民生費	40億 7638 万円	40億 9553 万円	△ 1915 万円	99.5%
	総務費	19億 6581 万円	35億 228 万円	△15億 3647 万円	56.1%
	教育費	16億 7014 万円	15億 7048 万円	9966 万円	106.3%
	衛生費	12億 1880 万円	12億 5513 万円	△ 3633 万円	97.1%
	土木費	11億 339 万円	12億 1820 万円	△1億 1481 万円	90.6%
	公債費	8億 9148 万円	7億 9700 万円	9448 万円	111.9%
	防費	6億 3992 万円	8億 8008 万円	△2億 4016 万円	72.7%
	商工費	5億 9323 万円	5億 2863 万円	6460 万円	112.2%
	議会費	1億 4331 万円	1億 3281 万円	1050 万円	107.9%
農林水産業費	4960 万円	6039 万円	△ 1079 万円	82.1%	

総括質疑
一般会計決算

Q 渡邊 明議員

決算調査を延べ6日間開催し、特別会計を含め全体で288件の質疑がありました。地域医療の充実や看護師・介護福祉士不足の解消など、子どもから高齢者まで、町民誰もが健康で安心して暮らせる町、さらに企業や商店が元気となり、町民に笑顔があふれる明るい町づくりを目指して引き続き頑張っていただけのような要望します。

A 町長
決算調査において議員から出された指摘や提案について、行政運営の中で十分に検討され、積極的に反映されますようにお願いします。

ご意見に対して11月から始まる来年度の予算査定の参考にします。ご提言は大切に受け、スピード感を持って調査し、また有効なご提言に関しては早期に実現ができるよう努力します。

平成30年第4回大泉町議会定例会 会議結果及び議案等関係賛否一覧表

議席番号			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	採決結果	
議員名			中尾大助	澁木茂	塚田義一	佐藤久芳	川島幸広	堀越幸彦	須田敏裕	都丸裕史	宮永万里子	田邊信雄	山口将己	浅野正満	青木満	渡邊明	森昌彦		
諮問	第1号	人権擁護委員候補者の推薦について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	全員
議案	第38号	大泉町町税条例等の一部を改正する条例について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	全員
	第39号	大泉町都市計画税条例の一部を改正する条例について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	全員
	第40号	大泉町介護保険条例の一部を改正する条例について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	全員
	第41号	工事請負契約（大泉町公共下水道東部幹線管渠築造工事）の締結について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	全員
	第42号	平成30年度大泉町一般会計補正予算（第1号）について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	全員
	第43号	平成30年度大泉町国民健康保険事業特別会計補正予算（第1号）について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	全員
	第44号	平成30年度大泉町後期高齢者医療事業特別会計補正予算（第1号）について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	全員
	第45号	平成30年度大泉町介護保険事業特別会計補正予算（第1号）について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	全員
	第46号	平成30年度大泉町公園墓地事業特別会計補正予算（第1号）について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	全員
	第47号	平成30年度大泉町下水道事業特別会計補正予算（第1号）について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	全員
	第48号	平成29年度大泉町一般会計歳入歳出決算認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	全員
	第49号	平成29年度大泉町国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	全員
	第50号	平成29年度大泉町後期高齢者医療事業特別会計歳入歳出決算認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	全員
	第51号	平成29年度大泉町介護保険事業特別会計歳入歳出決算認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	全員
	第52号	平成29年度大泉町公園墓地事業特別会計歳入歳出決算認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	全員
第53号	平成29年度大泉町下水道事業特別会計歳入歳出決算認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	全員	
請願	第1号	若い人も高齢者も安心できる年金制度である全額国庫負担の最低保障年金制度創設を政府に求める請願（委員会報告）	○	○	○	○	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	多数
	第2号	年金支給の隔月支給を毎月支給に改める請願（委員会報告）	○	○	○	○	●	●	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	多数
	第3号	地方財政の充実・強化を求める請願（委員会報告）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	全員
発議	第2号	地方財政の充実・強化を求める意見書	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	全員
陳情	第4号	群馬大学医学部附属病院に係る特定機能病院の早期承認を求める意見書の提出について（委員会報告）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	全員
発議	第3号	群馬大学医学部附属病院に係る特定機能病院の早期承認を求める意見書	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	全員

※「○」＝賛成（起立）、「●」＝反対、「―」＝欠席または不在
 ※議長は、採決に加わっていないため「/」で表示
 ※採決結果の「全員」「多数」は、可決成立（同意）を表す。「少数」は、否決不成立（不同意）を表す。
 ※請願・陳情については、委員会報告に対する賛否を表す。

7月臨時会質疑
議案第35号

福祉医療費支給に関する今回の条例改正は、子どもの医療費無料化について、高校卒業の18歳までを入院とあわせて通院も無料化するものですが、先進地の茨城県境町などは専門学校の学生20歳までが医療費無料化となっています。

Q 今後は、国の責任で子どもはもちろん高齢者の医療費無料化の制度化を求め、国からの財源確保を追求しながら、本町の子ども医療費無料化制度を非課税世帯の条件付きではなく、所得制限なくすべての子ども、高校卒業18歳までを対象に拡充してください。

A 今後も町の財政状況を勘案するとともに、先進地などもしっかりと勉強させてもらいながら、なるべく多くの住民の皆さんが安心して子育てできる方向で検討します。

一般質問

一般質問の内容

質問者

件名・要旨

議席14番

渡邊 明 議員

1. 子ども・子育て支援について
(1)保育の「量的拡充」について
(2)保育内容の更なる「質の向上」について
2. 障害者雇用の促進について
(1)本町の障害者雇用の現状と評価について
(2)障害者雇用の更なる促進について
3. 交通安全対策について
(1)町内の交通安全対策の現状について
(2)「自転車ネットワーク計画」について
(3)「自転車活用推進法」の推進について

議席6番

堀越 幸広 議員

1. 児童生徒への熱中症予防について
(1)小中学校の特別教室におけるエアコンの設置状況について
(2)体育及び部活動での熱中症対策について
2. 緊急時の児童生徒による応急対応について
(1)小学生を対象とした着衣水泳指導の導入について
(2)中学生を対象としたAED操作実習について
(3)命の大切さを伝える教育について
3. 町税の滞納処分実施状況について
(1)町税滞納処分までの取り組みについて
(2)滞納者の状況把握について
(3)滞納者の状況に応じた収納業務について

議席7番

須田 敏彦 議員

1. 高齢者支援について
(1)熱中症対策について
2. 健康づくりの推進について
(1)不育症治療費補助制度について
(2)子どものワクチン接種について
3. 災害対策について
(1)各種障がい者に対する支援について
(2)災害時の障がい者に対する支援について
(3)災害支援ボランティアチームの結成について

※議会だよりへの一般質問の掲載は1人1件までとなっております。その他の質問内容については、町ホームページもしくは図書館にある会議録でご確認ください。

町ホームページURL：<https://www.town.oizumi.gunma.jp/>

町政を問う！

Q 早急に自転車事故防止対策を

A 危険箇所を優先的に設置検討します



渡邊 明 議員

群馬県の高校生自転車事故発生件数は3年連続で全国ワースト1位です。

本町の自転車事故発生状況は昨年1年間で44件、負傷者は42人です。年齢別で1番多いのが16歳から24歳以下11人、2番目が15歳以下の10人です。県内と同様に中高生を中心に若い層が50%を占めています。自転車事故の多くは町道で発生しており、全体の59%、26件が町道です。

事故防止対策として「自転車通行可」などの道路標識の設置を、警察や関係者と連携して早急に

対策を講じる必要があります。

町長

町道での事故が多いというご指摘をいただいたので、特に児童生徒の安全確保を優先に考え、通路等等重点箇所を把握、また、どこを優先的に設置していくか検討し、実施をしていきます。



自転車通行の安全確保を

Q 町税滞納者の状況に応じた収納業務を

A 要綱整備で滞納者生活状況をより正確に把握



堀越 幸広 議員

滞納となった町税の収納業務は法の下、適正に処理されていると理解しますが、公平性を担保するため担当職員が画一的に収納業務にあたることは何ら問題なく、収納率も上がります。

しかし、必ずしもそういった取り組みが実情に合ったものか判断が難しく、滞納者の生活実態や異なる形態に対応するには収納課の方針となる、例えば収納事務取扱要綱等の整備や関係部署との体制構築が必要だと思えますが、財務部長の考えをお聞きします。

財務部長

納税の公平性や財源確保の観点で、収納率向上のため個々の徴税吏員の裁量や考え方で、滞納者の生活状況を正確に把握せず滞納処分を優先してしまう可能性もあります。個人ではなく組織として収納業務の取り組みの姿勢や手順を示した要綱等の整備は必要であるとの共通認識です。また、関係部署との体制構築により連携することで、不納欠損の大半である生活困窮者の相談を受け、生活が安定するような視点で収納業務に取り組みます。



一般質問

Q ワクチンの再接種補助制度の導入を

A 今年度内に実施していきたい



須田 敏彦 議員

を導入することで、やがては国や県を動かし、多くの子どもやその家族の支援に繋がると思います。ワクチン再接種補助制度の導入についてお聞きします。

町長

経済的負担が非常に高いことはご指摘のとおりです。ワクチン再接種の遅れにより、子ども達が病気に感染してしまうことも考えられます。

子どもは大切な町の宝であるため支援していきます。県内で一番最初にこの制度を導入したいと考えています。

未成年者に対するワクチンの再接種補助制度の導入は、本来なら国や県がやるべき制度だと考えますが、本町がこの制度



みなさんからの 請願・陳情 はこうなりました

5件の請願・陳情について、審議の付託を受けた常任委員会で審議を行いました。

採 択

【請願第3号】

地方財政の充実・強化を求める請願
(理由) 要望内容妥当と認める。

《請願者》

日本労働組合総連合会

群馬県連合会 館林地域協議会

議長 間中 陽一

《紹介議員》

都丸 裕史・佐藤 久芳

採 択

【陳情第4号】

群馬大学医学部附属病院に係る特定機能病院の早期承認を求める意見書の提出について
(理由) 要望内容妥当と認める。

《陳情者》

群馬県町村議会会議長会

会長 仲澤 太郎

《継続審議》

【請願第4号】

自動車関係諸税の抜本改革を求める請願
(理由) 引き続き調査研究を要する。

《請願者》

全日本自動車産業労働組合総連合会 群馬地方協議会

議長 川又 敏之

《紹介議員》

都丸 裕史

不 採 択

【請願第1号】

若い人も高齢者も安心できる年金制度である全額国庫負担の最低保障年金制度創設を政府に求める請願
(理由) 納付と支給において公平性に欠ける点や少子高齢化社会における年金制度を勘案し、不採択とする。

《請願者》

全日本年金者組合群馬県本部

執行委員長 田村 照代

館林邑楽支部 支部長

大西 和夫

《紹介議員》

渡邊 明・堀越 幸広

不 採 択

【請願第2号】

年金支給日の隔月支給を毎月支給に改める請願
(理由) 毎月支給に改めるための費用対効果などを勘案し、不採択とする。

※請願者・紹介議員は請願第1号と同一



チェック!

総務文教常任委員会

Q 秘書課の新聞広告料が減額となっていていますが、町のPRの取り組みのあり方についてお聞きします。

A マスコミなども活用し、最小限の費用で効果的なPRに努めています。

Q 新規職員採用試験の要件を28歳から30歳に引き上げた効果と、技術職の人材確保についてお聞きします。

A 平成28年度と比較すると応募者が8名増加し、そのうち6名が29、30歳でした。社会人枠を設けて技術職確保に努めました。

Q 職員の健康管理事業について、各種健康診査の中で受診が必須となっている検診の受診率についてお聞きします。

A 春と秋の健康診断とストレスチェックが必須となっております。対象となる職員は100%受診・回答しています。

Q 防犯灯補助金について、区の負担がなくなるよう電気料金の全額町負担の検討をされたかお聞きします。

A 現在の町の負担率は80%です。負担額については区長に説明し、理解していただいています。



夜間の安全のため

Q 大泉町東小泉駅前安全センター防犯コミュニティ相談業務について、相談件数855件のうち686件、80%が休息等の立ち寄りによるものです。425万円の事業費に対しての費用対効果についてお聞きします。

A 犯罪件数は減少し、一定の効果はあり、地域の防犯面においても有効と考え、今後も業務内容を精査していきます。

Q 地方創生関係について、移住相談会等へ参加していますが、相談会をきっかけに本町へ移住された方はいましたか。

A 相談会をきっかけとして移住された方の把握はしておりませんが、本町のPRをしつかりし、人口の増加に向け取り組みを推進しました。

Q 町民の意見収集方法として、道路通報アプリの先進地視察を行い意見収集方法の検討を行ったと思いますが、その結果についてお聞きします。

A 神奈川県相模原市の視察を行いました。今後よりよい意見収集方法を確立するため、調査研究を行います。



Q 多文化共生地域交流会と世代間多文化交流事業の交流会に参加した方の感想についてお聞きします。

A 参加された方から、異文化への理解が深まり、有意義な時間になったとお声をいただきました。

常任委員会 決算調査の主な内容

平成29年度決算を厳しく

Q 多文化地域における若者へのキャリアデザイン支援事業補助金について、ファッション・パフォーマンスショーを行った効果をお聞きします。

A 参加した子ども達から、将来の夢ややりたいことが見つかったなどの意見もあり、効果はあったと考えます。

Q 財務会計システム保守委託料が減額されている要因をお聞きします。

A 委託内容について、サポート体制の見直しを行いました。

Q 教育管理課の施設整備事業について、借り上げしているエアコンの台数とエアコン未設置の教室の数をお聞きします。

A 小学校97台、中学校54台がリース契約です。普通教室は全て設置済みですが、特別教室は

50室が未設置であり、このうち30室についてエアコンの設置が必要です。



教育環境の整備を

Q 校務支援システムの活用により、子どもと向き合う時間の確保と業務改善による教材研究や生徒指導の充実を図るとありますが、その結果についてお聞きします。

A 校務支援システムの導入により、特に学期末の事務量が大幅に軽減され、子どもと向き合う時間や教材研究時間の確保ができました。

Q 外国籍の児童生徒で言語のサポートが必要な人数と多国籍化で対応できない言語があつたかお聞きします。

A 205名の児童生徒が日本語教室に通学しています。今までにトルコの言語で対応が難しい事例がありました。写真や絵を使って指導しました。



Q 小中学校のいじめの実態といじめ防止対策の状況についてお聞きします。

A 悪口を言われたなどの案件を確認し、すでに解決しました。法令などの有識者を含む5名でいじめ問題調査委員会を設置し、いじめ対策の検討をしています。

Q いじめ防止対策事業のSNSによるいじめの対応についてお聞きします。

A 各小中学校で、児童生徒に対してSNSについての学習を実施しました。

Q 児童虐待が疑われる通報・相談の件数、またその内容や関係機関との情報共有の状況についてお聞きします。

A 泣き声などによる通報が7件あり、そのうちの4件を児童虐待として関係機関（警察、児童相談所、民生児童委員、各小中学校、子育て関係部署など）と情報連携して対応しました。

チェック!



民生産業常任委員会



安心して通えるくれよんはうす

Q くれよんはうすで実施している障害を持った子どもに対する心身障害児集団活動・訓練事業において、通所している子どもが何名いて、どのような訓練をされているかお聞きします。

A 療育手帳を持っている14名の児童と障害者手帳を持っていない1名の児童で、野菜作りなどを通じて協調性を養い、コミュニケーション能力の向上に努めています。

Q 認知症カフェの事業内容と家族の介護負担軽減の取り組みについてお聞きします。

A 認知症の方やその家族、地域住民が参加し、講話や脳トレ、また、参加者同士での意見交換などでリフレッシュを図っています。

Q 町民相談の件数が平成28年度より減っていますが、この中で解決した案件はあるのかお聞きします。

A その場での解決はありませんが、適切な対応をしています。内容によっては、より適切な機関へ案内するなど関係部署との連携を行っています。

Q 平成28年度に比べ転出先不明者が増えています。その理由をお

聞きします。

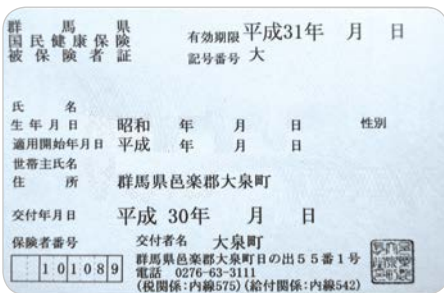
A 届出せずに国外への出国をした方等の職権消除が増えていることが主な理由です。

Q マイナンバー通知カードの再交付が平成28年度と比べて増えています。どんな理由かお聞きします。

A しまいなくしたり、捨ててしまったり、様々な手続きでマイナンバーが必要になり、再交付の手続きをした方が多かったためと思われます。

Q 国民年金において被保険者や免除者数の中で、若年者納付猶予の対象者の要件、また、平成28年度と比べ増えた理由をお聞きします。

A 50歳未満で経済的な理由で保険料の納付が困難な方等の猶予制度で、外国人にも適応されます。10年以内であれば追納可能です。対象者の年齢が引き上げられたこ



生命を守る国民健康保険

などが増えた理由です。

Q 国民健康保険事業の出産育児一時金について、日本人と外国人の支給人数をお聞きします。

A 支給実績は82人であり、その内訳は日本人が33人、外国人が49人です。

Q 国民健康保険事業の一般被保険者国民健康保険税と退職被保険者等国民健康保険税の不納欠損の内訳についてお聞きします。

A 生活困窮によるものや出国等によるものです。

常任委員会 決算調査の主な内容

平成29年度決算を厳しく

Q 消費生活センターで特微的な相談内容があったかどうかお聞きします。

A 法務省を語る架空請求ハガキ、メール等が最多となっております。通販や住宅修理に関するトラブルなどもありました。60代、70代が相談件数の半数を占めています。



消費者を守る消費生活センター

Q 企業誘致について、どのような取り組みをしたのか、また、町内に新たに工業用地に転換できる土地があるのかお聞きします。

A 県が主催し、東京で行われた「企業立地セミナー」に出展し、町の奨励金などをPRし、企業誘致を働きかけました。また、現在町内に工

業用地に適した用地はないのが現状です。

Q いずみの杜運営事業の中で評価や利便性の向上について、指定管理者にどのように求めたのかお聞きします。

A 町としては、利用者の要望に対応するよう指定管理者に求めました。



町民の憩いの場 いずみの杜

Q 農業振興関係の多面的機能支払交付金事業において、交付金を交付した2団体の活動内容についてお聞きします。

A 主な活動は、田植え前の水路の泥上げや除草、台風後の見回り、農道の補修100箇所以上です。



適正な農地の利用を

Q 農業委員と農地利用最適化推進委員の活動の違いについてお聞きします。

A 農業委員は農地転用許可の審議、推進委員は農地の集約化や適正管理が主な仕事となっております。

Q 広域公共バス「あおぞら」の乗降者数が若干増えています。どういった取り組みをされたのか、また、今後路線拡大などの検討をされたのかお聞きします。

A 平成28年4月に、学生の利便性を図りダイヤ改正をしたことが浸透してきたと考えています。今後についても利用

者の声を聞きながら対応していきます。

Q 南公園にある循環式トイレは水が汚く見えませんが、いつ造られ、どのような様式なのかお聞きします。

A 平成17年に造られ、洗浄水を循環・濾過し、再利用をする様式となっております。

Q 群馬東部水道企業団への下水道使用料徴収業務委託後の収納率についてお聞きします。

A 平成28年度から水道事業を群馬東部水道企業団へ移行しましたが、平成28年度は94・9%、平成29年度は94・4%で移行前より収納率が上がりました。理由としては、滞納者への督促から給水停止までの期間が短くなったことが考えられます。



議会トピックス

群馬県町村議会議長会 町村議会議員研修会に出席しました！



- 日時：平成30年10月26日(金) 午後1時～
- 場所：吉岡町文化センター（北群馬郡吉岡町）
- 内容：「町村議会議員の議員報酬等のあり方について」
「地方創生と地方議会の役割」

お知らせ

みなさん議会傍聴に来てください

役場4階の議会傍聴受付にお越しください。
受付簿に住所・氏名・年齢をご記入いただくと傍聴できます。
議会日程は町ホームページでお知らせしています。

議会だより・会議録がホームページで見られます。
<https://www.town.oizumi.gunma.jp/>

編集後記

今年各地で様々な災害がありました。北海道の最大震度7の大地震や、西日本の大型台風により、多くの方が被災されました。

災害を予測することは困難ですが、1人ひとり災害に対して備えることができます。

水や食料は、最低3日分は備蓄した方が良いでしょう。水は1人1日3リットルが必要です。また食料は、特別なものを用意するのではなく、保存性の良いものを日ごろから多めに買い置きし、定期的に食べてまた買い足すと無駄なく有効です。

備えあれば憂いなし、明日はわが身と考え、自分と家族のために小さなことから始めてはいかがでしょうか。

川島 広

次回の定例会は
12月11日(火)
午前10時～
予定しています
お問い合わせ ☎63-3111
内線451

【議会だより文責】					議長	青木 満
【編集委員】					委員長	須田 敏彦
委員長	副委員長	委員	委員	委員	委員	委員
堀越 幸広	川島 幸広	佐藤 久芳	塚田 一茂	澁木 大助	中尾 大彦	



この広報紙は、自然保護のため再生紙とベジタブルインキを使用し作成しています。